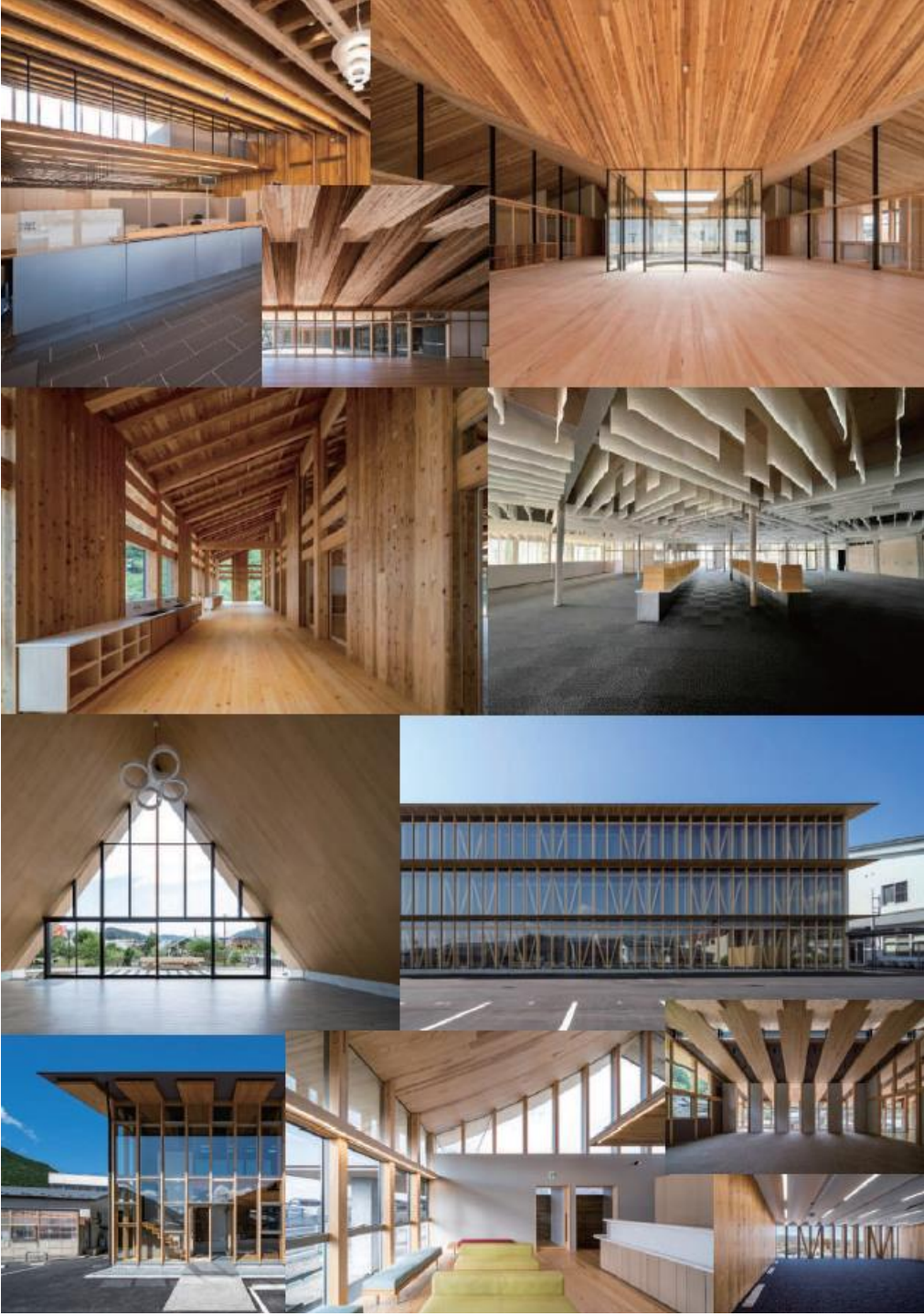


公益社団法人 日本建築家協会
の説明資料



「CLT、再考」

SOU ARCHITECTURAL FACTORY
YOKOBATAKE KOH
2025. 10. 28



艸建築工房

SOU ARCHITECTURAL FACTORY

代表取締役 横畠康

社員 : 11名

所在地: 高知県高知市

業務: 建築の企画・設計・監理並びに調査
ZEBプランナー



なぜ、今木造なのか？

■木造を選択する意義と向き合う

- ・ 木造が流行っているように思うから。
- ・ 木造で建てた方がメディア受けして名声があがり、次につながりそうだから。
- ・ 発注要件がたまたま木造だったから。

→ **無理やり木造の選択肢を乱用すると、息切れしてしまう。**
なぜ今木造なのか？を、各々の立場で振り返るようになる。

■木の消費を増やす目的

- 地球保全・温暖化
- 木の成長過程におけるCO2吸収
- 森林整備が必要
- 森の循環
- **木の消費と再造林を増やし、弾み車の維持**
- **環境ミッション**

資料Ⅲ-20 森林資源の循環利用(イメージ)



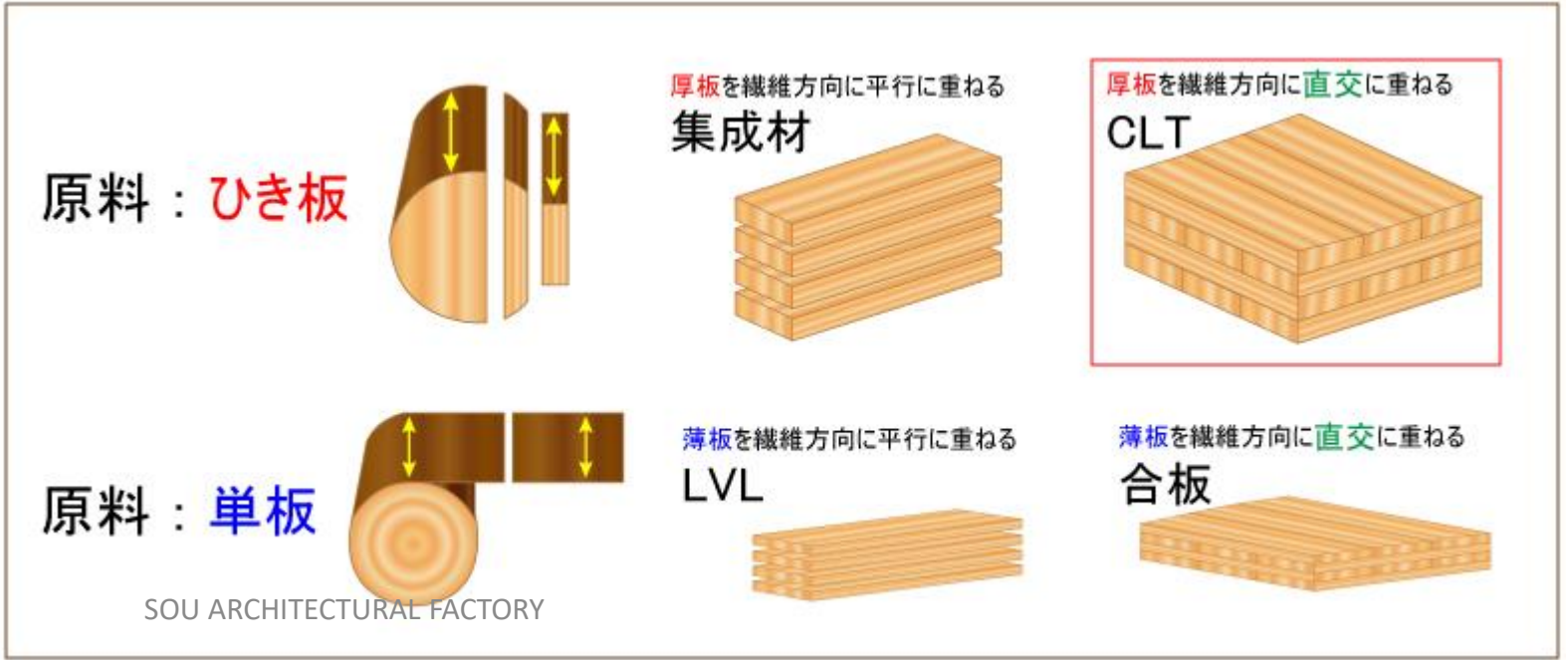
→非木造の「木造化」が**目的**

CLT利用は**手段のひとつ**である。

木造化は、CLT単体での普及活動では社会実装の拡大にはつながらない。
流行っているからでは、疲弊し、やがて敬遠されてしまう。



多種多様の空間や規模に応える建築素材の一つとして「CLTだからできる可能性」があれば採用し、逆にCLT以外でもできることは他の選択肢を行う。
 つまり、計画段階で「CLTの採用」にこだわっているのではなく、CLTだからできることという「CLTの使い方」を重要視しています。多少工事費が高くなっても、発注者の価値向上につながれば提案。あとは意思決定。採用してよかったと思える建築・空間をめざします。



発注者にとって、予算とは＝**投資**。投資に対してどうこたえるか。

コストとをどう考えか。

- ①本来必要である**構造要素**（柱・梁など）をまとめる。
- ②本来必要である**仕上要素**（天井・床など）を兼ねる。
- ③上記をととても自然にかつ合理的に、**デザインに昇華**させる。

多少高くなっても、代替の利かない建築・空間

→**資産価値向上につながる。**

木造でやってよかった！の選択肢につなげる。





これまで20件以上の事例から
部位別のCLT採用事例を紹介



屋根 **折板**屋根
 壁兼用屋根
 シザーストラス
 反り屋根

壁 **3層通し**壁
 貫工法
 矩形壁

床 **張弦**床

みんなではぐくむ「杜のぐどう」

四万十市立具同保育所移転改築工事等実施設計

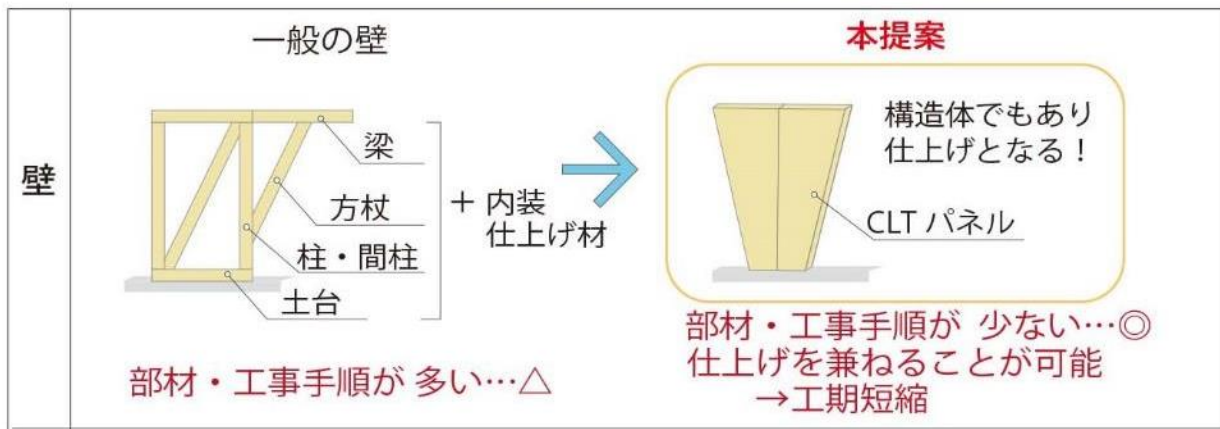
「出会う場、育ちあう場、ひろがる場」
子どもたちの施設のみならず、
地域や大人たちも加わり、
子育ての輪、地域の幅が広がってゆく
次世代の新しい関係性を創造する
保育園を提案します。



三方向を受ける
台形型CLTパネル。

CLTを使用することで、
コスト縮減・工期短縮！

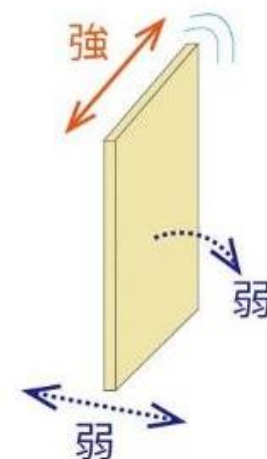
- ・材料、部材数の縮減が可能
- ・構造と仕上げを一度に兼ねることが可能
- ・もえしろ設計によりボード被覆が不要



本提案のCLT架構は「水平力」のX方向、Y方向両方に効果的です。横揺れ・縦揺れにも強く特化した工法。2枚だからこそできる可能性を活かした無駄のない合理的な工法を提案します。



壁としての従来の利用

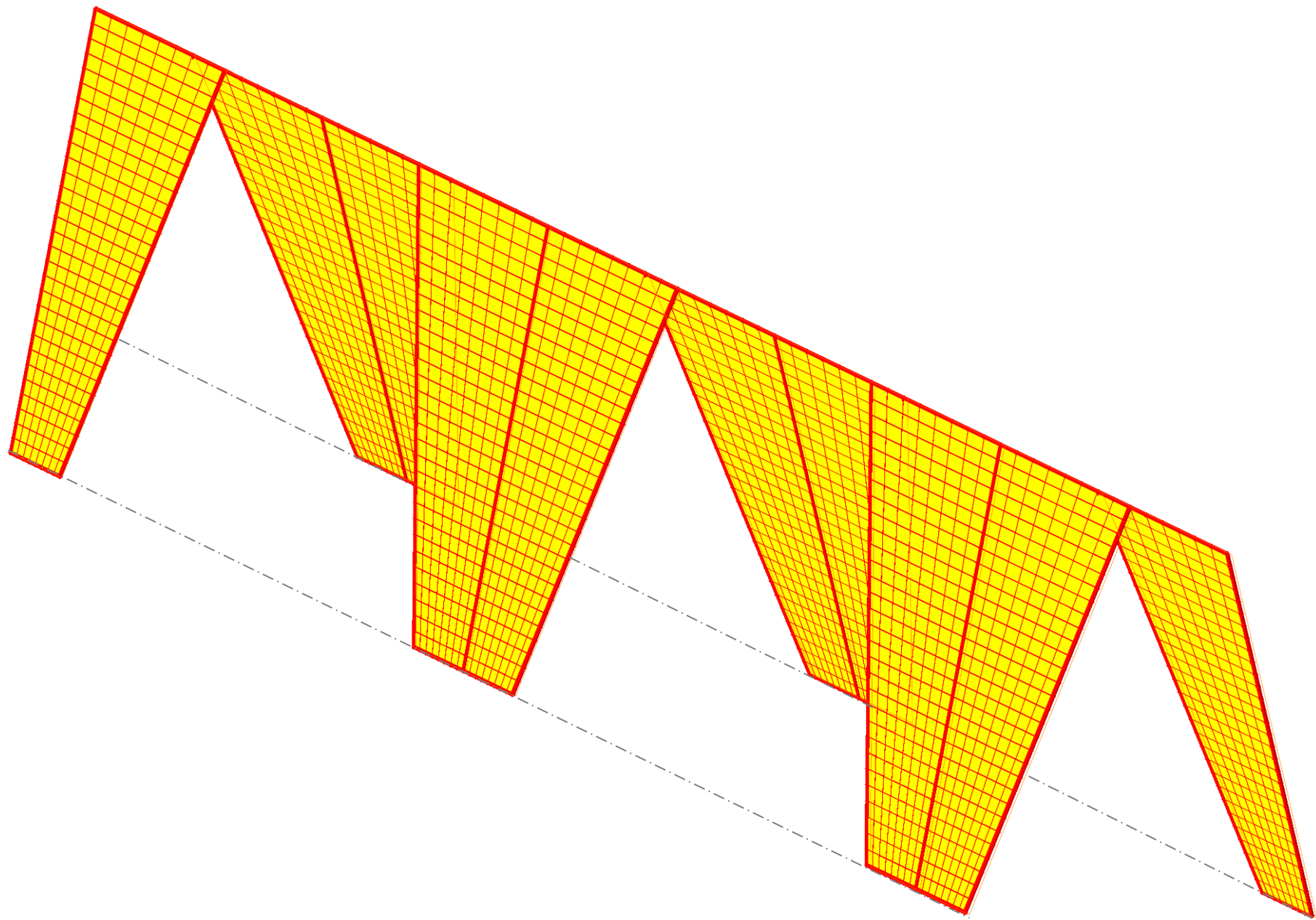


1枚で使用した場合、
1方向のみの効果しかない

本提案



2枚使用した工法だと、
2方向への効果があります



CLTパネル(変形前)



▲廊下・内装イメージ



▲パネル工法施工実績多数

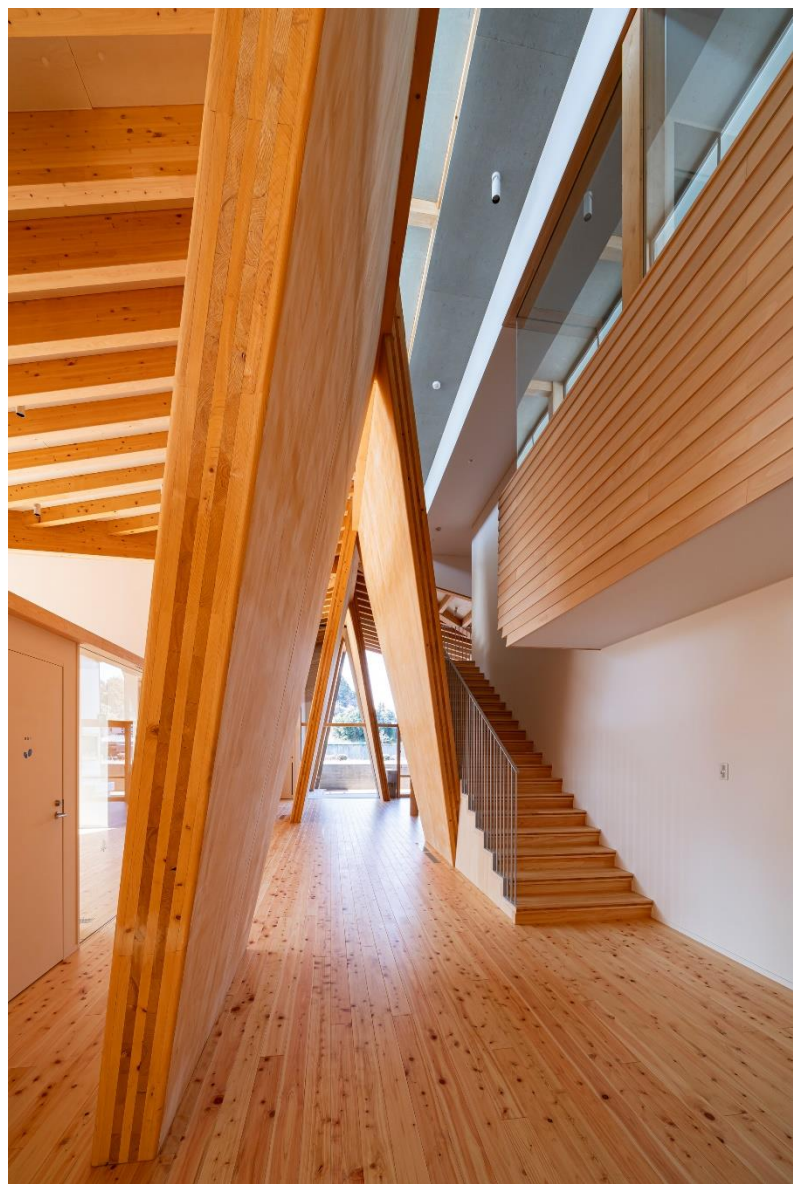


200人の子供たちが、雨の日も自由に走り回れる。60mのCLTトンネル。













随所にお気に入りの居場所がある。
幼少期の記憶に残る大きな家の存在として。

